

# 経営比較分析表（令和6年度決算）

山口県萩市 市民病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
当然財務	病院事業	一般病院	100床以上～200床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	10	対象	ド透訓	救へ輪
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中後病院	看護配置
41,637	9,722	第2種該当	-	7：1

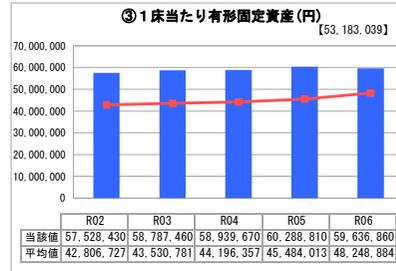
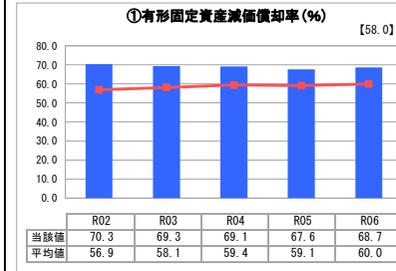
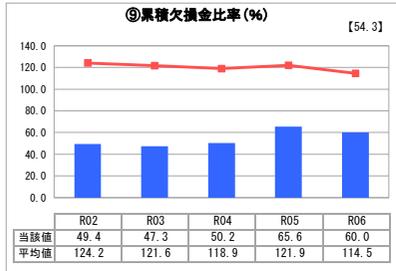
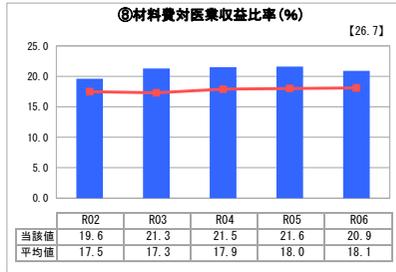
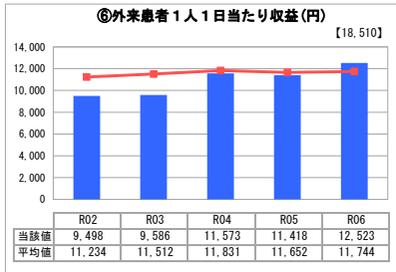
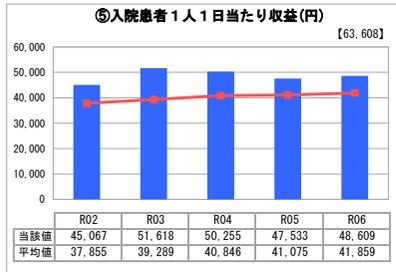
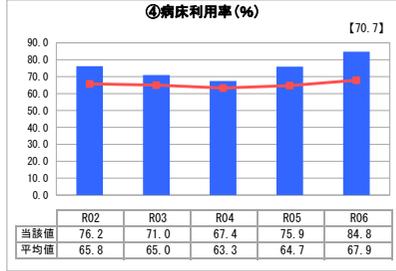
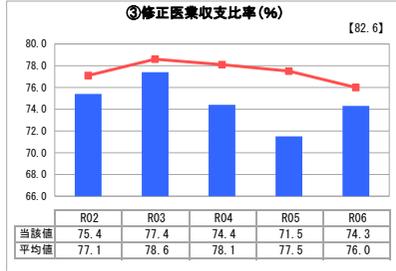
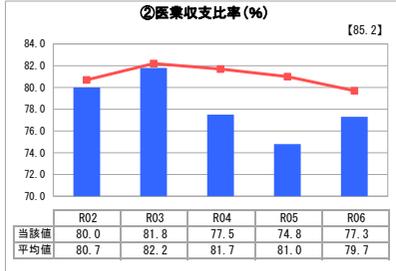
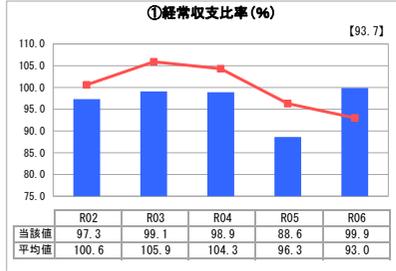
※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（総核）
100	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	100
最大使用病床（一般）	最大使用病床（療養）	最大使用病床（一般+療養）
95	-	95

グラフ凡例	
■	当該病院値（当該値）
-	類似病院平均値（平均値）
[ ]	令和6年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況

## 経営強化に係る主な取組（直近の実施時期）

継続強化・運維強化 (従来の取組・ネットワーク化を含む)	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	-	-
年度	年度	年度

### I 地域において担っている役割

当院は萩医療圏で唯一の公立病院として、二次救急医療や小児医療、へき地医療などの政策的役割をはじめ、急性期における地域の中心的な病院の一つとしての役割を担っている。  
 具体的には、病院群輪番制による救急医療を担うとともに、山口県北部地域における心疾患患者の対応や、医療圏で唯一の入院施設を有する小児科として入院医療及び専門外来診療、小児救急を担っている。  
 また、へき地医療拠点病院として離島の公立診療所の診療支援（代診、遠隔画像診断、医師の研修受入）の実施や、新型コロナウイルス感染症対策においては、山口県と協定を締結し、感染流行期における感染症病床の確保や発熱外来の設置、平時においては医療従事者研修会など人材育成等を行っている。  
 この他にCTやMRIなどの医療機器の共同利用も行っている。

### II 分析欄

#### 1. 経営の健全性・効率性について

入院収益については、ベッドコントロールや救急受入体制の強化に加え、十分ではないものの看護師不足も看護補助者の採用を含めて一定程度の充足が図れたことから、前年に比べ病床利用率が大きく向上し、且つ、看護補助体制加算など各種加算措置の取得の取組により収益が大きく増加した。外来収益は、前年度と比患者数は減少したものの患者単価の増加により、僅かに収益は増加した。  
 医療費用については、人件費単価の上昇による給与費の増加に加え、労務単価や物価の高騰など社会情勢の影響により、光熱費や保守料、施設設備の管理経費が急増し又は増加したこと、前年に比べ費用全体が大きく増加した。  
 医療収益は増加したものの、それ以上の医療費用の増加により収支が悪化する状況となり、資金収支の関係から初めての基準外の赤字繰入（2.5億円）を行わざるを得ない状況となった。繰入れの結果、経常収支比率をはじめとした経営指標は向上している状態はあるが、実態は極めて厳しい経営状況となっている。  
 当院は100床という小規模病院でありながら公立病院として様々な役割を求められている。その中で経営改善を進めて行くには、引き続き他の医療機関との連携や適切なベッドコントロールによる稼働率、単価の引上げ等に取り組む必要がある。

#### 2. 老朽化の状況について

開院から既に20年以上が経過し、有形固定資産減価償却率は類似病院平均値を大きく上回るなど施設の老朽化が進んでいる。移転新築時に一括して施設設備の整備を行っていることから、同時期に法定耐用年数が経過することになり、今後、屋根・外壁改修、空調設備更新など大規模な改修を控えている。機械備品減価償却率においては、計画的な医療機器の更新に加え、高度医療機器（MRI等）の更新が始まっており、類似病院平均値に比べ低くなっている。  
 当院が地域唯一の公立病院として求められる役割を担うため、地域に必要な医療機器や施設の機能等を備えておく必要があることから、1床当たりの有形固定資産は類似病院平均値よりも高くなっている。事業費の上昇や物価の高騰などにより、収益の増加を上回る費用の増加により、一般会計からの基準外（赤字）繰入れを行わざるを得ないなど、経営環境は厳しい状況にある。  
 このように、人件費の上昇や物価高騰などの社会的要因に加え、地域的、病床規模的に厳しい環境下にあるが、医療圏で唯一の公立病院として、地域に必要な医療を将来にわたり提供できるよう、経営強化プランに掲げる取組を推進し、医療人材の確保と定着を図りながら、経営状況の改善に努めていく必要がある。

#### 全体総括

人口減少や少子化、医療従事者の不足と高齢化など、萩医療圏を取り巻く環境は厳しい状況にある。  
 医療収支は、ベッドコントロールや集患対策、単価向上の取組等により大きく増加したものの、人件費の上昇や物価の高騰などにより、収益の増加を上回る費用の増加により、一般会計からの基準外（赤字）繰入れを行わざるを得ないなど、経営環境は厳しい状況にある。  
 このように、人件費の上昇や物価高騰などの社会的要因に加え、地域的、病床規模的に厳しい環境下にあるが、医療圏で唯一の公立病院として、地域に必要な医療を将来にわたり提供できるよう、経営強化プランに掲げる取組を推進し、医療人材の確保と定着を図りながら、経営状況の改善に努めていく必要がある。

※1 類似病院平均値（平均値）については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。